2020年度
第1学年類型登録保護者説明会

2020年 5月26日 15:30～16:30 於熱田高等学校体育館

【式次第】

1 学校長挨拶

2 類型登録について（教務部より）

3 学年主任より

4 質疑応答

類型登録保護者説明会レジュメ

1　新しい大学入試が始まる訳だが…

(1)大学入学共通テスト　→　国・数の記述問題　延期

(2)英語4技能の評価　→　民間試験　延期

2　どのような力が求められているのか

(1)社会が求める力

(2)何をすれば良いのか

3　入学間もないのに進路を考えると言うこと

4　類型登録のポイント

5　最後に

Ⅰ 新しい大学入試が始まる訳だが…

高大接続改革の進捗状況

平成29年10月1日時点

高等学校教育改革

《「学力の３要素」の確実な育成》

✔教育課程の見直し

- 平成28年12月答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策について」
- 平成29年度に高等学校学習指導要領を改訂予定（育成すべき資質・能力を踏まえた教科・科目等の見直し）

✔学習・指導方法の改善と教員の資質能力の向上

- 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」について学習指導要領と一体で議論
- 平成27年12月答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」
- 「教育公務員特例法等の一部を改正する法律案」（教特法、免許法、教員研修センター法の一括改正）が成立（平成28年11月）

✔多面的な評価の推進

- 「高校生のための学びの基礎診断」の実施方針を策定（平成29年7月）
- 「キャリア・パスポート（仮称）」の調査研究事業を実施（平成29年度）
- 高校学習指導要領の改訂を踏まえ、指導要録参考様式を見直す予定（平成30年度以降）
- 「検定事業者による自己評価・情報公開・第三者評価ガイドライン（案）」について、検討まとめ（平成29年8月）

大学教育改革

《「学力の３要素」の更なる伸長》

✔「三つの方針※」に基づく大学教育の質的転換

- 「三つの方針」の一体的な策定・公表の制度化（平成29年4月施行）
- 「三つの方針」策定・運用に関するガイドラインを国が作成・配布

✔認証評価制度の改善

- 「三つの方針」等を共通評価項目とし、平成30年度から認証評価に反映

※「三つの方針」とは、卒業認定・学位授与の方針、教育課程の編成・実施の方針、入学者受入れの方針を指します。

主体的・対話的で深い学び

大学入学者選抜改革

《「学力の３要素」の多面的・総合的評価》

✔「大学入学共通テスト」の導入

- ◎ 思考力・判断力・表現力の一層の重視
- 「大学入学共通テスト」の実施方針を決定（平成29年7月）
  - ▶【国語】【数学】・・・記述式問題を導入
  - ▶【英語】・・・４技能（読む・聞く・話す・書く）を適切に評価するため、民間等が実施する資格・検定試験を活用

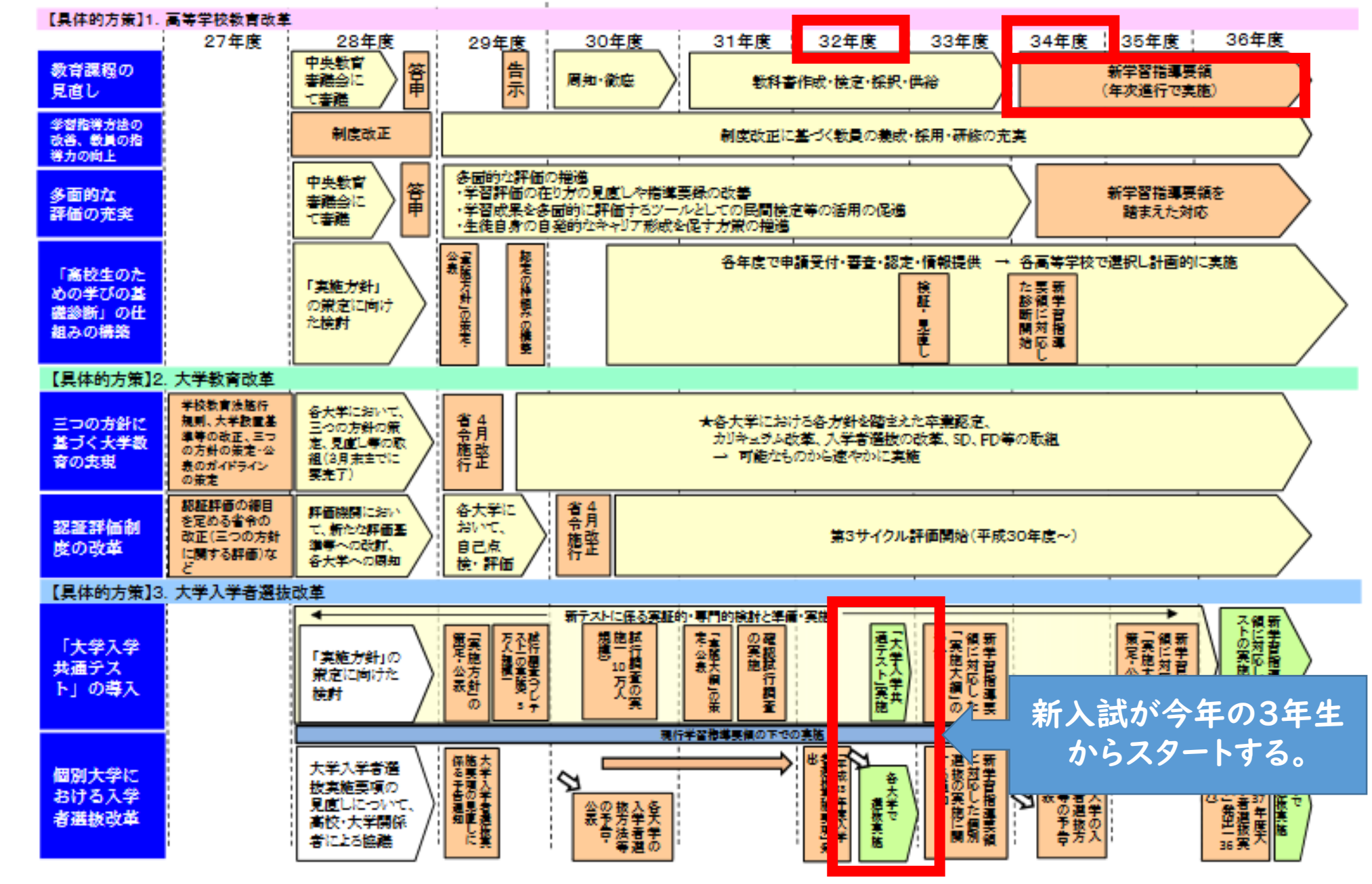
✔個別入学者選抜の改革

- ◎ 明確な「入学者受入れの方針」に基づき、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する選抜へ改善
- 新たな評価方法の開発・普及（平成28年度から）
  - ▶大学入学者選抜改革推進委託事業
- 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」を決定（平成29年7月）
  - ▶入学者選抜に関する新たなルールの設定
  - ▶調査書・提出書類の改善

「「個別入学者選抜」「AO入試」「推薦入試」において，小論文，プレゼンテーション，学科試験，共通テスト等の活用必須化

高大接続システム改革のスケジュール

平成29年10月1日更新



２ どのような力が求められているのか

「知識・技能」だけでなく「思考力」「判断力」「表現力」が求められている

↓

暗記は知識か？

↓

数学を暗記だけで対応してきた人は，読解力が平均より劣るという研究発表もある。

Ans．暗記しただけでは知識とも言えない。（すぐ忘れる）
暗記したものが活用できなければならない。

↓

「知っている」だけではなく「どう応用できるのか」
「どう組み合わせると解決できるのか」
「どう共有するか」

「見方」＝「視点」
「考え方」＝「思考」
視点をもてるから思考することができる以上，この2つは一体不可分。

(参考：「授業の見方」澤井陽介著，東洋館書店)

「どうすれば身に付くのか」

<ポイント>

① 知識は身に付けなければ始まらない
これは知っておきなさい，これは基本だからできるように練習しようと言われたことは反復練習してできるようにする。

② 疑問を大切にする
先生に質問する，友だち同士で話し合う，そうした普段の授業を大切にする
→「分からない」ことは恥ではない。できないままにすることが恥である。

③ どの教科も繋がっている
保健や家庭科，情報など実生活に近い教科もあれば，数学や古文・漢文のように実生活では表面にその存在が現れにくい教科もある。しかし，どの教科も根っこの部分では繋がっている。一つの物事をみる角度が違うだけ。どの教科も疎かにしないこと。

④ 最後にものを言うのは読解力
普段の多くの時間を日本語でコミュニケーションをとり，考えているのだから，日本語の理解力，読解力の差が大人になってから大きな差になる。

３ 入学間もないのに進路を考えると言うこと

まだ，入学して間もないのに３年後の進路を考えろと言われても…という思いは誰にでもあるだろう。しかし，間違えてほしくない点は，**進学指導**ではなく，**進路指導**と言うことだ。つまり，ただ高等学校を卒業した後の進学先や就職先をどうするかを決めるという話ではなく，どのような生き方をしていきたいかを考え続けようということだ。最近では，キャリア教育という言葉でも知られるようになった。では，生き方を考えると言われても遠大な話であるため，捉えにくいだろう。そこで，高等学校を卒業した後の進路を糸口にして，将来のビジョンを描いていこうという話になる。

これから先，大学の合同説明会や様々なイベントの紹介が進路指導部から発信されるが，それらの情報をうまく利用しながら，将来何をしたいかを考えてほしい。もちろんその手助けとなるプログラムも高等学校では用意されている。「総合的な探究の時間」がそれにあたる。そうした時間を活用しながら家庭でも話し合い，将来の事を考えてほしい。

チャレンジすることでしか成長はない。

↓

よりよい環境を求めることが，重要だと考える。
環境が整っているとは？＝少人数（国公立大は１教員に対する生徒数の割合が小さい）。
やる気のある学生が多い。
（一般受験をくぐり抜けた学生が多い）。
↓
私立大はほとんどがスポーツ推薦等の割合が多い学部がある。
看板学部以外は募集人数が多い（経営のため）。
全国の大学を視野に入れて，自分に合う大学を探すことが重要。
妥協しない。県外で大学生活を送ることが可能ならそれもよい経験。

4 類型登録のポイント

世間で言う「理系」「文系」とここで言う「理系」「文系」は異なる！

類型選択における「理系」「文系」とは何を指すのか。一言で言うなら「選択科目による大分類」と捉えてほしい。具体的に言えば次の点が主な特徴である。

① 数学の選択

数学ⅠⅡＡＢまでの学習 → 文系
数学Ⅲまでの学習 → 理系

② 理科の選択

基礎科目までの学習 → 文系
基礎を付さない科目までの学習 → 理系

③ 地理歴史公民の選択

地理歴史と公民の**両方**が必要な可能性がある → 文系
地理歴史または公民の**どちらか一方**までででよい → 理系

理系が有利とか，文系が有利とかはない。本人にあった進路を考えることが重要。仕事も適するものを探す。大学名で選ばれる時代は終わった。高校時代，大学時代を“どこ”で過ごしたか，ではなく，何をしたか，**何を身に付けたか**が問われる。

※あくまで大雑把な捉え方として

こうした特色をまとめた分類が「理系」「文系」である。
そこを踏まえて，これから生徒自身の進路を考え，類型選択と科目選択を考えてほしい。

資料Ｉ（類型説明用資料より抜粋）

〇文系の選択科目と大学入試

★ 地歴・公民について

国公立の共通テストは（地歴Ａ・Ｂ、公民）からＩ又は２科目選択。ただし、ほとんどの大学がＢを指定しているので注意してください。私立大のセンター試験は(地歴Ａ・Ｂ、公民)からＩ科目選択。ただし、ほとんどの大学がＢを指定しているので注意してください。

★ 数学について

国公立大希望の人で、共通テストの入試科目に数Ｉ・Ａがある場合は**数学Ａ(2)**をとる必要があります。さらに、入試科目に数学Ⅱ・Ｂも含まれる場合は、**文系数学(3)**も取る必要があります。また、私立大希望の人でも数学で受験をする場合は、入試科目を調べて **数学A(2)　または（数学A(2)＋文系数学(3)）**をとる必要があります。

★ 理科について

〇国公立大学

共通テストでは、基礎を付した科目が２つ必要です。２次試験では、基本的には理科はありませんが、生活系、食品栄養系、医療・看護系の学部では、基礎を付さない科目がＩ～２科目必要な大学があるので、そのような大学を目指す場合には理系に進んだ方が有利です。

〇私立大・短大

ほとんどの私立大・短大では、入試科目に理科はありません。ただし、生活系、食品栄養系、医療・看護系の学部ではＩ科目必要なところがあり、物理・化学・生物のいずれかが選択ないし必須になっています。このＩ科目が基礎を付した科目であれば文系に進めばよいのですが、基礎を付さない科目であれば、理系に進んだ方が有利です。

○理系の選択科目と大学入試

○ 国語・地歴公民について

国立大の共通テストでは、ほとんどの大学で国語と地歴公民１科目が必要です。

○ 理科について

国公立大の２次試験と私立大の受験科目を考慮して選択する必要があります。国公立大は共通テストも含めて受験科目は２科目が多い。また、学部・学科によっては科目指定（物理・化学など）がありますので注意して下さい。

５ 最後に

今の動きは，新しい方向へ急激な方向転換をしようとしているわけではない。今まで培ってきた教育の「本質」により近づくためだと考える。

「本質」とは何か。

１０年後，２０年後を想像してほしい。大人になった子どもたちが個人として，社会の組織として何らかの判断をしながら当然生きていくことになる。それは，我々が経験してきたこととは異なり，予測すらできないものかもしれない。そのために備え，訓練することが高等学校やその先の上級学校等の役割だ。その使命を果たすために，高等学校では授業というごくシンプルな“思考訓練の場”を最大限に活用している。生徒が常に胸に刻んでほしいこと，それは「諦めないで，どんな困難にも立ち向かおうと努力すること」である。保護者や教師の役割は，その勇気を支え，応援し続けることだ。

その第一歩が類型を考えること。自分自身をさらに深く掘り下げ，将来，どのような活躍をしたいかを想像しながら，類型登録を考えてほしい。

楽な道はない。あえて困難な道を選ぶ忍耐力が，これからの社会では求められる。

（付録）熱田高校の授業改善

　熱田高校では，新学習指導要領や共通テストに向けて授業改善に取り組み続けています。その一部を紹介します。

○ロイロノート・スクールの導入

　今回の休校措置による家庭学習のサポートや授業におけるシンキングツールとしてロイロノート・スクールを導入し活用しています。

○「問い」を重視した授業展開

　「何を考えるか」は「問い」によると考えます。先生方の問いを理解し，それに答えようと考えることが「深い学び」につながります。

○生徒同士の学び合いを重視

　生徒同士が学び合う，教え合うことは重要です。その雰囲気づくりを大切にしています。また，学校行事などを通して生徒のコミュニケーション能力を培います。